

# 機能水ニュースレター No. 111

2023年1月20日発行 一般財団法人機能水研究振興財団 編集担当 堀田国元・中藤誉子・清水雅俊

協力：日本機能水学会・(公財)レイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: [kinousui-zaidan@fwf.or.jp](mailto:kinousui-zaidan@fwf.or.jp) ホームページ: <http://www.fwf.or.jp>

年頭に当たって： . . . . .	1
お知らせ： 生物安全実践講習会第5回基盤コース . . . . .	2
ATP・迅速検査研究会第47回講演会 . . . . .	3
第24回日本口腔機能水学会学術大会 . . . . .	4
第86回ウォーター研究会 . . . . .	5
報告： 生物安全実践講習会第4回基盤コース . . . . .	5
訃報： 久保田昌治氏 . . . . .	5

## 機能水関連カレンダー

(ATP)迅速検査研究会第47回講演会	2023年2月15日(水)	月島社会教育会館(東京)
生物安全実践講習会第5回基盤コース	2023年2月20日(月)	全国和牛登録会館(京都市)
第86回ウォーター研究会	2023年3月3日(金)	日本感染症医薬品協会(東京)
第26回日本口腔機能水学会学術大会	2023年3月25-26日(土・日)	倉敷公民館(岡山県倉敷市)
ifia JAPAN 2023	2023年5月17~19日(水~金)	東京ビッグサイト(東京)
日本機能水学会第21回学術大会	2023年10月7-8日(土・日)	福岡国際会議場(福岡市)

## 年頭に当たって： ウイズコロナ活動とSDGsを念頭に置いた機能水の展望

コロナ禍と露のウクライナ侵攻が長引くなか新しい年が明けました。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

政府は、社会経済活動活性化のためにコロナ対策の規制緩和方針を打出しましたが、周知の通り感染者数が連日のように10万人を超え、死者数も数百人に達しており、また海外からのインバウンドの増加などが懸念されます。そのため、低リスクなウィズコロナ生活を送るための方策が求められています。一方で、国際的な潮流であるSDGsへの積極的な取り組みも求められています。こうした状況を踏まえて、機能水関係全体の活動を展望すると以下のようなことが浮かんできます。

- 次亜塩素酸水生成装置のJIS規格(JIS B 8701)改定： 2017年の制定以来5年が経過したことを機に、水道電解水生成装置を包含する改定案がまとまり、今後は経産省における改定審議を経て今年中に改定が公布される見通しである。
- 次亜塩素酸水の空間噴霧使用： 空間浄化プロジェクト(機能水研究振興財団2020年~)においてガイドラインの作成を目標に、安全性の確認、有効性試験法の確立、有用な使用方法の標準化などについて取り組みが進んでいる。
- レイ・パストゥール医学研究センター： 機能水研究振興財団と連携・展開している共同公益事業の一環として、BSL3施設が稼働を開始し、次亜塩素酸水に関する各種試験が実施される見通し。また、法令を含めて病原性微生物の基礎知識、感染様式、感染制御について体系的に教育する生物安全実践講習会(座学と実習、特別講演)を年4回以上開催する。
- 学会活動： コロナ禍のなか、ハイブリッド(リアルとWEB)開催されてきたが、コロナ対策の規制緩和に伴って今年はリアル参加者の増加が見込まれます(因みに3月の口腔機能水学会は完全対面方式)。10月の日本機能水学会第21回学術大会(福岡国際会議場; 靄知光大会長)もコロナ禍前に近づくことが期待されます。
- SDGs(持続的開発目標)： 人にも環境にも安全性が高く有効な機能水は、17項目の目標のうち、少なくとも5項目(3.保健、6.水・衛生、9.イノベーション、12.生産・消費、14.海洋資源)に貢献できるポテンシャルをもっており、そのことを世の中にアピールし、実証していくことが望まれます。(堀田国元・中藤誉子 記)

<お知らせ>



# 生物安全実践講習会



## 第5回基盤コース 実施・募集概要

日時：令和5(2023)年2月20日(月) 9:00~17:00 (受付開始 8:45)

会場：(公社)全国和牛登録協会 2階 大ホール

京都市中京区烏丸通御池上る二条殿町546番地2

※アクセス:京都市営地下鉄「烏丸御池駅」徒歩1分

対象者：病原体の基盤知識を必要とされる、医療・衛生機器、食品加工機器、建築設備等取扱い、介護施設、食品サービス、各種学校・保育園、スポーツ施設等の衛生管理に従事される方

受講料：1名 20,000円 講習会終了後、受講者全員に修了証を授与致します

資格認定：試験合格者のうち希望者に「生物安全技能士」認定証を授与致します(認定料 20,000円)

募集定員：32名(感染対策のため大収容の会場にて開催致します)

募集締切：2023年2月13日(月) ※但し定員に達し次第募集終了となります

申込方法：生物安全実践講習会ホームページ上の「講習会」ページの申し込みリンクより受け付けます

< <https://biosafetyforum.wixsite.com/seibutanzen> >

事務局：生物安全実践講習会事務局 担当 清水雅俊( [kinousui-zaidan@fwf.or.jp](mailto:kinousui-zaidan@fwf.or.jp) )



### — プログラム —

時間	区分	科目	演者/講師/スタッフ等
9:00-9:10	開講挨拶	ルイ・バストゥール医学研究センター理事長 吉川敏一 事務連絡 本日のスケジュール・N95マスク着用指導	
9:10-9:25	ガイダンス	生物安全講習会概要	堀田 国元 機能水研究振興財団
9:25-9:55	座学1	感染症概論	木ノ本 雅通 元国立感染症研究所
9:55-10:25	座学2	病原体概論Ⅰー細菌ー	中野 隆史 大阪医科薬科大学医学部
10:25-10:35	座学3	病原体概論Ⅱーウイルスー	吉澤 重克 元千葉県家畜衛生研究所
10:55-11:05	(休憩)		
11:05-11:35	座学4	感染防御概論Ⅰー感染経路対策ー	堀田 国元 機能水研究振興財団 立石 亘 ATP迅速検査研究会
11:35-12:05	座学5	感染制御概論Ⅱー殺菌・消毒ー	岩澤 篤郎 東京医療保健大学
12:05-13:00	(昼食休憩)	昼食は事務局にてご用意します	
13:00-13:45	特別講演	「感染症予防のための 今知っておくべき新知識・新情報」	貫井 陽子先生 京都府立医科大学
13:45-13:55	(休憩)		
13:55-14:20	実習解説	各担当企業(5分×4) + 移動(5分)	サラヤ、キッコーマン、Mi-kin、興研
14:20-15:40	実習A	衛生的手洗い	・グループに分かれA~Dを実施 ・20分間隔でローテーション
	実習B	ATPふきとり検査	
	実習C	動く細菌の直接観察	
	実習D	個人防護具の着脱	
15:40-15:45	(休憩)		
15:45-15:55	質疑応答		
15:55-16:05	理解度テスト兼資格認定試験の説明と試験用紙配布及び事務連絡(事務局)		
16:05-16:45	理解度テスト兼資格認定試験実施		
16:45-17:00	修了証授与・閉講挨拶	堀田 国元 機能水研究振興財団理事長	

関連資料  
ニ二展示  
同時開催

## 迅速検査研究会 (ATP・迅速検査研究会) 第47回講演会「迅速検査の今日的意義」ご案内

迅速検査研究会 会長 川崎 晋

迅速検査研究会は2023年2月15日(水)、東京の月島社会教育会館で  
第47回講演会「迅速検査の今日的意義」を開催します。ふるってご参加ください。(現地参加&オンライン配信)  
(ATP・迅速検査研究会は2022年11月に「迅速検査研究会」に改称しました)

プログラム(予定) 2023年2月15日(水)(開場12:00～、開演13:00～)

12:00～13:00	<b>受付</b> ※受付スタッフにお名刺を1枚お渡しください。 会場ロビーにおいて、迅速検査関連の資料の展示を行っております。
13:00～13:10 (10分)	<b>【主催者あいさつ】研究会の名称変更と簡便・迅速検査今後の展望</b> 迅速検査研究会 会長 川崎 晋 先生 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)食品研究部門)
13:10～14:00 (50分)	<b>【基調講演】HACCPにおける自主衛生検査と環境検査</b> 迅速検査研究会 副会長 森 哲也 先生 (一般財団法人法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 微生物検査部)
14:00～14:30 (30分)	<b>【講演】県内食品企業の食品保存性向上を目的とした衛生管理および食品開発支援</b> 福岡県工業技術センター 生物食品研究所 食品課 田崎 麻理奈 先生
14:30～14:45	<b>【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション①】</b> 日水製薬株式会社
14:45～15:05	休憩・展示 (会場ロビーにてATP・迅速検査の関連資料の展示を行っております)
15:05～15:20	<b>【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション②】</b> ネオジェン ジャパン株式会社
15:20～16:10 (50分)	<b>【講演】簡便・迅速検査を活用した医療施設における感染／衛生検査</b> ワタキューセイモア株式会社 メディカル営業本部 学術担当部長 伏見 了 先生 (東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 客員准教授)
16:10～17:00 (50分)	<b>【教育講演】食品リスクとの科学的な向き合い方 ～食の信頼を確保するスマート・リスクコミュニケーション</b> 特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会(SFSS)理事長 山崎 毅 先生
17:00～17:20	<b>総合討論</b> (閉会後も会場ロビーにて関連資料の展示を行っています)

※開演前、休憩時間、閉会後に簡便・迅速検査に関する展示を行っています。ごゆっくりご覧ください。

【会場】月島社会教育会館 (〒104-0052 東京都中央区月島 4-1-1、月島区民センター)

【定員】会場 100名 / ウェブ(ZOOM)視聴 100名

【受講費】賛助会員企業・法人会員企業 1,000円、一般 3,000円 (※事前登録をお願いします)

### 【お申し込み方法】

以下の7項目を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

1. 所属・役職、2. 住所、3. 氏名、4. E-mail、5. 電話番号、6. 会場聴講/ウェブ聴講の別、
7. 会員/非会員の別 (当会の賛助会員・法人会員、機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります)

【申し込み・問い合わせ先】 info@atp-jinsokukensa.com

【Google Formからもお申し込み頂けます】 <https://onl.bz/xyRMA6K>

# 第 24 回日本口腔機能水学会総会・学術大会

メインテーマ： 機能水でめざそう健口長寿!

- 期日・会場：** 令和 5 年 3 月 25 日(土)、26 日(日)・ [倉敷公民館](#) 〒710-0054 岡山県倉敷市本町 2-21
- 開催形式：** 現地対面開催のみ ※ 新型コロナウイルスの感染状況により紙面開催のみになる可能性もあります。
- 大会長：** 網中 雅仁(くらしき作陽大学 食文化学部)
- 主催：** 日本口腔機能水学会 <http://www.kinousui.com/index.html>
- 後援：** 倉敷市、(一財)機能水研究振興財団、(NPO 法人)食べて元気しあわせネットワーク
- 演題申込締切り：** 令和 5 年 1 月 31 日(日) 抄録提出締切: 令和 5 年 2 月 12 日(日)
- 企業展示 会誌広告：** 問い合わせは 大会事務局又は学会事務局まで eメールでお願いします。
- 参加費：** 事前登録 3 月 18 日振込確認分まで(会員・日本機能水学会会員 6 千円(当日登録 7 千円)  
(非会員)10 千円(当日登録も同額)
- ※ 振込先： 中国銀行 玉島北支店 普通口座 番号 2559836  
名義:第 24 回日本口腔機能水学会 学術大会 代表 網中 雅仁
- 大会事務局** 準備委員長:小倉 喜一郎(小倉歯科医院)  
事務局: 東洋厚生製薬所 東京都日野市日野 1321  
e-mail: 24th.kinousui2023@gmail.com Tel:(086)436-0231 (お問い合わせは e-mail をご利用ください)

## <プログラム>

### 3 月 25 日(土)

- 13:00-13:30 理事会
- 13:30-13:40 開会挨拶 大会長挨拶 網中 雅仁(くらしき作陽大学 食文化学部)
- 13:40-13:50 学会長挨拶 西田 哲也(日本大学歯学部歯科保存学第 III 講座)
- 14:00-15:30 教育講演 講演者 堀田 国元(一財 機能水研究振興財団)
- 15:40-16:20 市民公開講座 I 講演者 宮本 拓(くらしき作陽大学 食文化学部 学部長)  
「遊牧民(マサイ族・モンゴル族)のつくる発酵乳をたずねて~健康に役立つ乳酸菌の調査研究~」
- 16:20-16:50 市民公開講座 II 講演者 高木 弘隆(国立感染症研究所安全実験管理部)

懇親会(倉敷アイビースクエア)※ 昨今の状況を踏まえ、懇親会は開催されない場合があります。

### 3 月 26 日(日)

- 9:00-9:15 開会式 大会長挨拶: 網中 雅仁(くらしき作陽大学 食文化学部)  
来賓挨拶: 堀田 国元(一財 機能水研究振興財団)
- 9:15-10:00 一般演題
- 10:10-11:00 特別講演 I 食文化学部 坂本 八千代 先生(くらしき作陽大学食文化学部 岡山県栄養士会会長)  
「水分活性とおいしさ・栄養の追求」(仮題)  
座長: 網中 雅仁(くらしき作陽大学 食文化学部)
- 11:00-11:50 特別講演 II 高木弘隆先生(国立感染症研究所安全実験管理部)  
座長: 西田 哲也 日本大学歯学部歯科保存学第 III 講座
- 13:00-13:30 総会
- 13:30-14:20 企業ブリーフィング
- 14:30-15:20 特別講演 III 菊池 憲次 先生(公財 ルイ・パストゥール医学研究センター)  
座長: 吉川 敏一(公財 ルイ・パストゥール医学研究センター)
- 15:30- 一般演題  
次回大会長挨拶

## 第 86 回ウォーター研究会

2023 年 3 月 3 日(金)午後(公財)日本感染症医薬品協会会議室(4F; 東京都品川区上大崎 2-20-8; 機能水研究振興財団が入居しているビル)において開催されます。演題、演者については未定です。決まり次第、機能水研究振興財団 HP およびニュースレター号外でお知らせいたします。

### <報告> 生物安全実践講習会第 4 回基盤コース

2022 年 11 月 28 日(月)終日、食品衛生研究センターにおいて感染対策をたてた会場において開催された。5 つの座学講習(感染症概論、病原体概論 I (細菌)・II (ウイルス)、感染防御概論 I (感染経路対策)・II (殺菌・消毒))に続いて 4 つの実習(衛生的手洗い、ATP ふきとり検査、生菌の直接観察、マスクの着脱)が行われた。座学は、事前配布したテキストを用いて行われた。実習も、内容の説明をスライドを用いて行った後に行われた。

「感染症予防のため今知っておくべき新知識・新情報」に関する特別講演として、花木秀明先生(北里大学感染症制御研究センター長)による「新型コロナウイルスという疫病で分かったこと - 専門家はいなかった-」が行われた。講演内容は、新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの知識情報の解説とご自身の研究グループにおける研究成果についての極めて明快な解説で、環境の PCR 検査で陽性と出ても感染性はないことが判明したことなど受講者のみならず講習会スタッフにとってもたいへん有意義であった。

※生物安全実践講習会には、機能水関係者の方々も受講されていますが、次亜塩素酸水などの普及を図る上でもより多くの基盤知識として、感染性病原体について病原体そのもの、感染様式、感染制御に関して法令を含めて学習し、身に着けることが推奨されます。  
(清水雅俊・堀田国元 記)



衛生的手洗い後の効果チェック  
蛍光色素による判定



ATP ふきとりによる判定



着用マスクのフィットテスト



スマホによる生細菌の観察

訃報: 久保田昌治氏(株式会社ウォーターデザイン研究所)

令和4(2022)年 10 月 28 日、アミドロースによりご逝去されました。享年 85 歳。久保田先生は、機能水の黎明期から機能水研究に関心を寄せられ、機能水シンポジウムや機能水学術大会に欠かさず出席され、いつも質問やコメントを発しておられた姿が浮かんできます。心から冥福をお祈りいたします。合掌

# 第24回 日本口腔機能水学会 総会・学術大会

メインテーマ

機能水でめざそう健口長寿！  
2023年3月25日(土) ▶ 26日(日)

会場

倉敷市倉敷公民館  
〒710-0054 岡山県倉敷市本町2-21

大会長

網中 雅仁 くらしき作陽大学 食文化学部

教育講演 (3月25日)

堀田 国元 先生(一般財団法人 機能水研究振興財団 理事長)

市民公開講座 I (3月25日) 聴講無料

宮本 拓 先生(くらしき作陽大学食文化学部)

市民公開講座 II (3月25日) 聴講無料

高木 弘隆先生(国立感染症研究所安全実験管理部)

特別講演 I (3月26日)

坂本 八千代先生(くらしき作陽大学食文化学部 岡山県栄養士会会長)

特別講演 II (3月26日)

高木 弘隆先生(国立感染症研究所安全実験管理部)

特別講演 III (3月26日)

菊地 憲次先生(公益財団法人 ルイ・パストゥール医学研究センター)

■主催：日本口腔機能水学会 ■後援：倉敷市 (一財)機能水研究振興財団 (NPO法人)食べて元気しあわせネットワーク

大会事務局  
お問い合わせ

株式会社 東洋厚生製薬所  
e-mail; 24th.kinousui2023@gmail.com  
Tel; (086)-436-0231 (e-mailをご利用ください)

学会URL  
一般口演応募方法

<http://www.kinousui.com>